

令和2年度（2020年度）

熊本県職員採用試験

【大学卒業程度（水産）】

※ 答案用紙の題には「水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化」と記入してください。

論文課題

日本の漁業生産量は30年間で約3分の1に減少し、漁業就業者の減少・高齢化が続いている。さらには、海洋環境の変化など、漁業や漁村を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。

このような背景を踏まえ、国は、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢のバランスのとれた漁業就業構造を確立することを目指した水産政策の改革（参考）を進めており、漁業法など関係する制度改正も行われているところである。

また、本県における漁業生産量は表1、漁業経営体の数は表2となっている。表1及び表2から分かる本県の課題を分析し、国が進める制度改正を踏まえ、本県の水産業が「水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化」を目指すためにどのような施策が考えられるか、あなたの考えを述べなさい。

（裏面に続く）

(参考) 国の進める水産政策の改革

- 1 新たな資源管理システムの構築
- 2 漁業者の所得向上に資する流通構造の改革
- 3 生産性の向上に資する漁業許可制度の見直し
- 4 養殖・沿岸漁業の発展に資する海面利用制度の見直し
- 5 水産政策の改革の方向性に合わせた漁業協同組合制度の見直し
- 6 漁村の活性化と国境監視機能を始めとする多面的機能の発揮

(「平成30年度水産白書」より抜粋)

(表1) 熊本県の漁業生産量の推移

年	県計	海面漁業	海面養殖業
S63(1988)	130,574	75,072	55,502
H30(2018)	68,112	17,831	50,281
H30/S60	52%	24%	91%

(出典：農林水産統計 単位：トン)

(表2) 漁業経営体の推移

年	県計	海面漁業	海面養殖業
S63(1988)	8,244	6,594	1,650
H30(2018)	2,829	2,327	502
H30/S60	34%	35%	30%

(出典：漁業センサス 単位：経営体)

《注意事項》

- ※ 答案用紙は表裏750字の1500字詰めとなっています。**1000字程度で答案を作成してください。**
- ※ 下書きのための用紙は配付しませんので、この用紙の余白をお使いください。
- ※ この論文課題用紙は持ち帰ることができます。